



水と緑 いきいき輝く
夢あふれる 協働のまち

美 郷

島根県

SHIMANE
OCHI
MISATO



あんしんで
げんき暮らし



わしらみんな
にっこり



2014 美郷町勢要覧



町章

みさとの「み」の文字をモチーフに、いきいき輝く人とまちの姿を、両翼を広げ力強く飛ぶ鳥の姿で表現したものです。青と緑で水と緑の「豊かな自然」を、赤い円は夢あふれる「希望」を象徴しています。



町花〈石楠花〉

花の谷の国有林には自生地があり、国や地域で保存活動が行われています。七つに分かれた可憐なピンクの花は神秘的で「花の女王」と呼ばれ、自然豊かな町の象徴となっています。



町木〈梅〉

厳しい冬を過ぎ、早春に白や紅、薄紅の花をほころばせ、初夏につける果実は食文化の一端を担い生活に密着した存在となっていて、活力ある未来を切り開き、力強く発展する町のイメージにふさわしいものとなっています。

のんびりと暮らす 美しい郷…美郷町

平成 16 年 10 月 1 日に旧邑智町と旧大和村の合併により誕生した美郷町。島根県のほぼ中央部に位置し、町内を中国地方随一の江の川が大きく蛇行しながら貫流しています。美郷町の総面積は 282.92 km²で、島根県の総面積 6,707.294 km²の 4.2%にあたります。

江の川の沿岸部及びその支流に沿って浸食された急峻で起伏に富んだ地形が多く、総面積の大半を山林が占めており、その谷間や氾濫原に集落が形成されています。

自然に囲まれ、心豊かな生活を送っています。



地域の資源を守り 育てながら「まちづくり」

CONTENTS

- 2 美郷町について
- 6 暮らし・定住
- 8 子育て支援
- 10 産業・雇用
- 12 安心・安全
- 13 教育・交流
- 14 健康・福祉
- 16 美郷町のいいところ自慢
- 18 伝えていきたい 伝統と文化
- 19 町長あいさつ、議会・行政
- 20 美郷町の年間行事



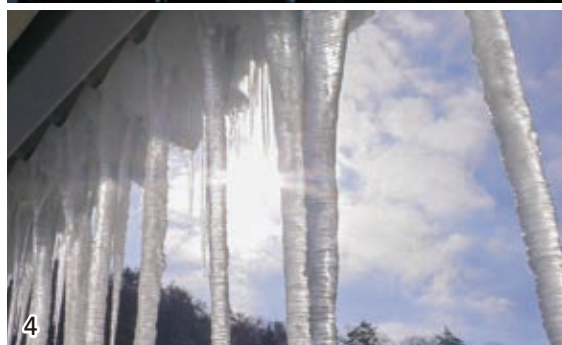
2



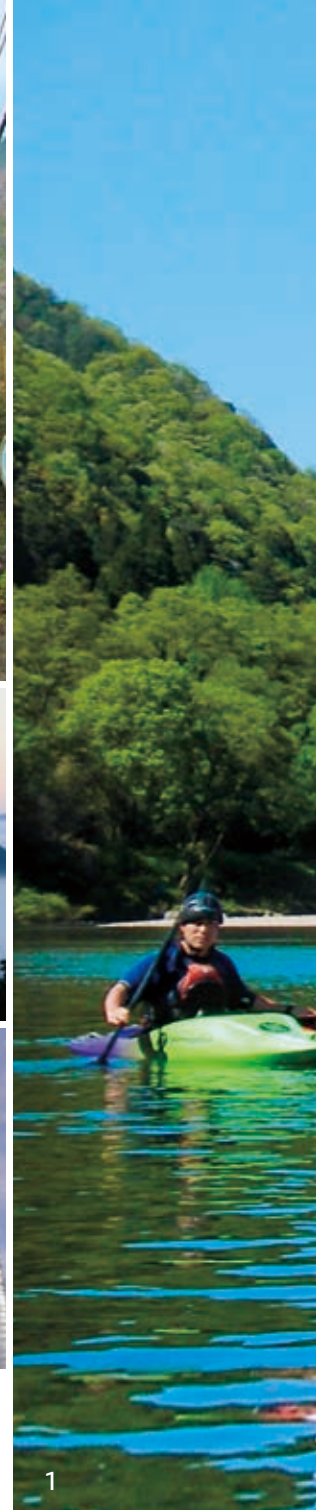
5



3



4



1

1. 大自然に囲まれてのカヌー体験 2. 潮村の桜並木 3. 野間から見た霧の海
4. 寒暖をくり返し自然がつくり出した氷柱 5. 各地で見ることのできるハデ干しの風景

自然と共に生きる

すべては豊かな大地からの恵み

思い切り空気を吸い込む。

美郷町の特徴はなんといっても、四季折々で豊かな表情を生み出す大自然とマイナスイオンたっぷりの美味しい空気。江の川の流れに沿ってまちを歩けば、町内の各地域でそれぞれ異なる形の橋や美しい風景が迎えてくれます。

春は桜。あたたかくなってきた風とともに淡いピンク色の桜並木が春の訪れを教えてくれます。夏は川。江の川やその支流でカヌーや釣りなど川遊びをする子どもたちの楽しげな声が響きます。秋は紅葉。稲穂が黄金色のじゅうたんに変わり、山に向かえばもみじや銀杏の鮮やかな色が目に飛び込みます。夜の冷え込みがぐつと厳しくなる秋から冬にかけて、日の出を迎える時間帯に山の高台から町を見下ろすと、そこ一帯には霧の海が広がりとても幻想的です。そして冬は雪。厳しい寒さの中に広がる一面の銀世界は、私たちの心も清らかにしてくれます。

地元の人々がなげなく口にしている季節ごとの美味しい食材やすぐれた泉質の秘湯、歴史のある街道などが観光資源となっているのもこの大自然があるからこそ。美味しいものを食べ、かつて銀を運んだ街道の歴史に触れ、締めくくりに山奥にたたずむ温泉で疲れを癒せば、きっとまた来たいと思う場所になることでしょう。

雄大な美しい自然に囲まれ、そこに住む温かい人々の暮らしの情景。共に笑い、共にいきいきと輝くことのできるまち。自然をまもり、歴史や伝統を受け継いできた美しき郷がここにあります。



1

暮らし・定住

安心して暮らせる環境と 魅力あるまちづくり

美郷町は、「定住子育てライフ五つ星の町」を定住のキャッチフレーズに、子育て世代などの若年層などが暮らしやすいまちにするため、子育て支援、定住・Ｕ・Ｉターン支援、職業相談などのさまざまな取り組みを行っています。

若年層の定住を促進するための若者定住住宅の整備や町内に点在している空き家を有効に活用して、地域活性化と定住人口の増加を目的に、空き家情報を幅広く提供しています。

さらに町の快適な環境を整えるため、その基盤となる道路網の整備や公共交通の利便性の確保、大切な交通手段であり観光資源でもあるＪＲ三江線の活性化など、様々な角度からまちづくりを進めています。

町内全域に光ファイバーによる超高速情報通信基盤を整備し、電話、テレビ、インターネット、告知放送などのサービスを統合して提供しています。

また、環境づくりにも力を入れ、再生可能エネルギーを推進し、美郷町の魅力、豊かな自然環境を守りながら、住みやすいまちづくりを進めています。

定住フェアでも
丁寧に対応します！



田舎暮らし コーディネーター

松嶋重仁

Ｕ・Ｉターンを希望する人が、スムーズに住むところや職業などの情報を得て、美郷町に住めるよう、空き家紹介、農地取得などをコーディネートします。Ｕ・Ｉターン者が地域にとけ込むための、つきあい方などのお手伝いもします。

試しに住んでみて！

美郷町移住体験住宅

美郷町への移住希望者へ、町内での田舎暮らしを体験してもらうための住宅です。家賃は 7,500 円／週～ 30,000 円／月で、最長 2 年間利用することができます。



美郷町移住体験住宅『ささらの家』

暮らし・定住



環境の整備

上下水道等の整備、森林や里山、河川などの自然環境の保全、太陽光発電等新エネルギーの推進やごみの減量化とリサイクルの推進など、生活におけるさまざまな環境を整備し、自然と共生したまちづくりを進めています。



公共交通の充実

人々が「豊かに楽しく・安心して」暮らせるように、国・県道や町道の幹線道路網の整備、JR 三江線やバス路線の利便性向上による公共交通の充実を図っており、通勤・通学・買い物など快適な暮らしを実感できるまちづくりを進めています。



情報・通信

町内全域に光ファイバーを整備して電話、インターネット、テレビなどのサービスをNTT 西日本と共同で提供する「みさと光ネット」、Facebook や LINE を活用した情報提供など情報・通信の整備を進めています。

若者定住住宅

子育ては恵まれた住環境を選ぶことから。

若者定住住宅は 40 歳以下で小学生までの子ども（妊娠中も可）を持つ子育て世帯のための住宅です。家賃は 30,000 円／月で、20 年間住めば住宅を無償譲渡できます。

面積は 95㎡程度で、間取りは入居者の生活プランに応じて多くのパターンから選べる新たな発想の定住者向け住宅です。

子どもを安全に安心して育てるには最適な環境です。



やなしおニュータウン



吾郷ニュータウン



山手ニュータウン



上野ニュータウン



2

子育て支援

家族が安心して楽しく 子育てできるまちづくり

全国的に少子高齢化が進んでいるなか、美郷町も例外ではなくここ数十年で急速に少子高齢化が進んでいます。要因としては、高齢化の加速、地域産業の衰退、未婚率の上昇、晩婚化などのほかに、若い世代が子育て環境に不安を抱いていることも挙げられます。

美郷町では少子高齢化をくい止めるべく、定住支援と子育て支援に力を入れています。

子どもを産みやすいよう、次代を担う子どもたちが健やかに育つよう、妊娠時から中学校卒業まで子どもが成長していく過程において、家族が安心して楽しく子育てできる環境を整えます。特に幼児期に関しては、土曜日の終日保育に力を入れ1時間延長したり、一時保育の対象を生後6ヶ月以上にしたりと、子育て支援機能の充実を図っています。

子どもは地域の宝です。家族みんなが笑顔で過ごせるよう、子育てをするお父さん、お母さんをチカラ強く支え、まち全体で子どもたち一人ひとりの成長を見守っています。



美郷町都賀保育園



おおち保育園

元気な子どもを
育てます！

希望あふれる未来を切り開く 美郷っ子が育つ保育園

美郷町内にはおおち保育園（定員120名）と美郷町都賀保育園（定員45名）、2ヶ所の認可保育所があります。保育料は、国基準の1/4（2階層のみ1/5）で、第3子以降（18歳未満の養育中の子の数）については無料です。住民税所得割非課税世帯は第2子も無料になります。



2 子育て支援



学校給食費の軽減

子どもが成長する過程で必要不可欠となる栄養。小中学校では毎日栄養バランスを考えて作られた給食を食べます。

平成26年4月からはその給食の食材費の30%を助成します。



子どもの医療費無料

誕生から義務教育が終了するまでの期間はいろんな病気にかかりやすいため、その間の医療費は無料、定期予防接種費用は全額助成しています。(インフルエンザの予防接種は高校卒業まで全額助成)



妊婦健診

不安の多い妊娠時。妊娠したら定期的な検査を行うため頻繁に病院に通うことになります。

妊婦さんの経済的な不安を除くため美郷町では妊婦健診の14回分を無料にしています。

子育て支援センター

子育てをされていて不安や悩みを抱えている世帯の育児に関する相談を受けたり、各種子育てに関する情報の提供をしたり、料理教室、いも掘りなどのイベントをとおして保護者同士の交流活動への援助などを行っています。

平成26年度からはおおち保育園の一角に場所を戻し、快適な支援活動を行います。



お料理やいも掘り
親子で楽しい
旬の行事も！





3

産業・雇用

大自然に囲まれた 町だからこそ 個性あるまちづくり

自然豊かな大地では、さまざまな農林産物が生み出されます。米作りはもとより、近年では白ネギ、広島菜、花卉栽培などにも水田が活用され、これからの農業経営環境に沿った営農が展開されています。

また、耕作放棄地等を利用した薬用作物の栽培による、新たな農産物栽培の動きが始まりました。

一方、中山間地域の農業ではイノシシなどの有害鳥獣被害が深刻です。しかし、美郷町では、捕獲と資源活用を連携し、捕獲したイノシシを「山くじら」と名づけた精肉販売や、加工品、革製品へと広げ、山くじらブランド作りをすすめています。

町の9割を占める山林は、木材価格の低迷により人工林への投資が減少していますが、木質バイオマスによる発電事業が動きだし、新たな木材資源の活用が展開してきました。

新たな産業の創出としては、平成24年度に人材と産業を一体的に育てる「みさとカレッジ」を設立し、将来の美郷町を担う人材と産業育成を図っています。



おおち山くじら



山くじら鍋の素
原料にイノシシ肉を使った鍋の素。イノシシ肉だけでなく、鶏肉、魚介類との相性も抜群！



山くじらの佃煮
ほどよい甘辛さと歯ごたえが、食欲をそそります。

山くじら＝イノシシ

「薬食い」の別名を持つイノシシは肉の食感が鯨肉と似ているため山間部などでは「山鯨（やまくじら）」と称して食べられてきました。

イノシシの肉は処理が難しく市場に出すことが困難とされてきましたが、美郷町では独自の処理方法で臭みを排除し、冬場の脂のある肉はもちろん、夏場でもヘルシーにおいしく食べることができるようになりました。

今では、「おおち山くじら」のブランド名で、高級食材として全国各地の有名店でも取り扱われているだけでなく、皮を使ったペンケースや名刺入れなどの製品も開発しており、人気の特産品となっています。



皮を使った名刺入れ

3 産業・雇用



まほろば産直市

道の駅グリーンロード大和に隣接しています。美郷町で作られた農産物や加工品など、とれたて、できたてのものを販売しています。国道375号沿いがあり、四季の景色を楽しめるため、町内の方だけでなく町外からも多くの方が訪れます。



薬用作物栽培

平成23年度から市場調査を行い、薬用作物の栽培を検討してきました。

その後、試験栽培や生薬取り扱い事業者の方々と連携し、芍薬栽培を中心とした薬用作物の栽培を広めています。栽培と並行し、野草茶の加工品を開発するなど新たな特産品を生み出しています。



農業・林業・畜産業

豊かな大地に恵まれた美郷町は古くから農業、林業、畜産業とともに暮らしてきました。米をはじめ、野菜やお茶、そして肉牛など、美郷に暮らす人々が惜しみない愛情をかけて作り上げた逸品です。

みさとカレッジ

美郷町では少子高齢化が進み、町の担い手となる人材が不足しています。また、文化・伝統芸能・習慣・古来からの技などについてもこのままでは誰にも伝承されことなく、忘れ去られてしまう状況にあり、これは町にとってたいへん大きな損失です。

このことから、美郷町を担っていく人材と産業を一体的に育て上げる仕組みとして「みさとカレッジ」を設立しました。



【専科】

地域の課題解決や資源活用などに主眼を置いた起業プランを募集し、「起業コンテスト」を経て優秀なプランについて起業に向けた支援を行います。



【普及科】

誰でも参加することができるオープン参加型講座です。座学並びに実践講座を行い、町内での就業・起業を目指すとともに、文化・伝統・技などを伝承するため、研修を行います。

みつばち講座、薬草講座、食品加工講座などがあります。



4

安心・安全

一人ひとりが支え合い 安心して暮らせるまちづくり

美郷町にとって貴重な資源・財産となつている豊かな自然は美しいだけではなく、時として牙をむくときがあります。

住民の生命と財産、産業基盤の安全確保を目的に関係機関と連携を深めながら、治山・治水事業を推進しています。また、町民の防災意識の向上や自主防災組織の活動支援など、地域の防災力を高める取り組みをしています。

防犯対策としては、青色防犯パトロール隊などと連携するとともに町内全域に防犯カメラ等を設置し、地域を中心とした防犯活動を展開しています。さらに、交通安全教室の実施やカーブミラー等の交通安全施設を整備するなど、交通安全対策に積極的に取り組んでいます。



青色防犯パトロール隊

町内の13連合自治会内すべてに青色防犯パトロール隊が結成されました。定期的に地域の見回りを行い、通学時に子どもの安全を見守るなど、地域安全推進委員と力を合わせ、日々活動をしています。



美郷町消防団

町内には11分団約300名の消防団員を配置しており、普段から訓練や研修、各分団での自主的な活動を行い地域の防災に取り組んでいます。火災発生時、豪雨や地震による災害への出動や防災の呼びかけをするなど美郷町に住む人たちが安心して暮らせるよう尽力しています。



美郷町防災公園

災害時等における2次避難場所として仮設住宅施設の建築ができるように広場が設けてあり、自衛隊などの受け入れ先としても使用できる防災公園が平成25年6月に完成しました。公園内にある防災センターは、被災時に必要な供給物資を備蓄する大型倉庫や防災無線を使った避難住民との連絡通信機能があります。



5

教育・交流

人が輝き交流が生まれる 学びのまちづくり



人の心を豊かにし、地域力の基礎をつくる生涯学習活動。未来を担う子どもたちが健やかで個性豊かに育つように、ふるさと教育推進事業やふるまい向上運動など地域社会が一体となった支援体制づくりをしています。

また、住民一人ひとりが自分の人生観に応じて自発的に学ぶための生涯学習システムの構築に努めています。

保育所、小中学校においては、自然や文化など地域の特性を活かした環境教育や福祉教育などのカリキュラムを導入し、地域と連携した授業や体験学習、専門的な学習の充実を図っています。



都市交流・国際交流

20年以上続いてきた広島市西区の己斐学区とは、毎年子ども交流会を開催するなど各種イベントをとおして交流をはかっています。また、美郷町出身者会や国際友好協会の自主的な運営を支援しています。



文化・スポーツの充実

公民館・集会所は生涯学習活動の拠点です。人と人との繋がりを大切に、各地域で書道や川柳、舞踊、パッチワークなどの教室が開かれており、みさと町民文化祭で日頃の成果を披露します。また、町体育協会を中心とした各種スポーツの普及とスポーツ少年団など各団体の自主的な活動を支援しています。



美郷大学（長寿大学）

概ね60歳以降の方を対象とし、自分らしいライフスタイルやネットワークづくりをお手伝いします。1年に渡って開校していて、前期は福祉や歴史などを学ぶ「教養講座」と楽しみながら学びを深める「お楽しみ講座」の2つに分かれ、後期は受講生が学習内容を計画します。



6

健康・福祉

生涯を通じて健康で 安心できるまちづくり

イキイキとして潤いのある毎日を送ることは、町民みんなの願いです。思いやりのある心を育み、助け合ったり支え合ったりしながら、心豊かに暮らしたいものです。美郷町では、行政や住民、そして社会福祉協議会などが力を合わせて、福祉の充実に努めています。

お年寄りが安心して暮らせるよう、地域包括支援センターが中心となつて、在宅福祉の充実を推進し、また社会参加活動の振興にも力を入れ、生き甲斐の持てる生活環境づくりに努めています。

近年、食生活やライフスタイルの変化を一因として生活習慣病などが増え、現代人の健康が脅かされています。健やかな心と体を維持していくためには、病気を予防するための知識を身に付け、実践していくことが大切です。健康への意識を高めるため、健康診断や健康相談などを通して積極的に保健指導や食育を行っています。

また、万一病気になつてしまった時にも安心して診療を受けることができるよう、医療体制の整備と、きめ細やかな医療サービスの提供に取り組んでいます。

いつまでも元気でいられるよう、美郷町地域包括支援センターとゴールデンユートピアおおちや、潮温泉大和荘が連携して様々な事業を行っています。



脳とからだの健康教室

簡単な計算や読み書き、陸上や水中での軽運動などを行います。



療養音楽教室（ドレミ倶楽部）

音楽に合わせて簡単なダンスをしたり、町内の色々な場所にお出かけしたりします。

ビデオを見ながら
ストレッチ！



美郷町国民健康保険 大和診療所

特定健康診査も受けることができる、美郷町直営の診療所です。まほろば福祉センター内に併設され、患者一人ひとりに適した医療サービスの提供と町民全体の健康管理に努めています。週に一日、比之宮地域への出張診療も行っています。



健康ウォーキング

健康増進を目的に各地域でウォーキングを行っています。開催時には健康相談をしたり、旬の野菜を使ったスープやドリンクをふるまっています。ウォーキングを通して仲間との交流を図り、町内の景色を楽しむことができます。



シルバー人材センター

高齢者が働くことで生きがいを得るとともに、地域社会の活性化に貢献している組織です。美郷町社会福祉協議会が運営しています。草刈りや障子貼りなど、登録者の人生経験を活かした仕事を請け負います。

食育の推進

美郷町では毎月19日を「食育の日」と定めています。食事は生きる上での基本であって、知育・徳育・体育の基礎となるものです。食育とは様々な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てることです。

美郷町では幼いときから「食べること」の重要性を学びます。保育所ではみんなで一緒にカレーを作って食べたり、小中学校では野菜の栽培や鳥獣害を勉強したり、郷土料理を学んだりします。

生涯にわたって心身ともに健康であり続けるための知識をしっかりと身につけます。



サトイモの
収穫も体験！



地域の方に教わりながら、押し寿司などの郷土料理を教わります。



「愛菜カレーの日」と銘打ち、地元産の野菜や米をふんだんに使い、カレーを作って食べます。

美郷町のいいところ自慢

ライフジャケットを着用し、流れのない静水域をのんびりと楽しめます。初心者の方でも漕艇しやすいカヤックですので、老若男女を問わず、泳げない方でも十分に楽しんでいただけます。初心者にはインストラクターが指導いたします。



カヌーの里おおち

美郷町の雄大な自然を体感するならやっぱり江の川。江の川での代表的な遊びといえばカヌー体験。雄大なフィールドで子どもたちも成長しています。カヌーの里おおちでは参加者のレベルに合わせた講習会やカヌーのレンタルなどを行っているので初心者でも安心して挑戦できます。世界の珍しいカヌーが展示された博物館、カナディアンカヌーなどの大きな木工品からカービングなどの小さなクラフト作品が製作できる体験工房やオートキャンプ場などもあり、家族みんなでアウトドアライフを楽しめます。



カヌー工房ではストリッププランキング工法によるカナディアンカヌーの製作を行っています。作業時間は個人で差がありますが、およそ120～200時間程度で完成します。



蟠龍峡公園

美しい滝を見ながら遊歩道を歩き、水と緑を楽しむことができます。マイナスイオンをたっぷり浴び、自然を満喫できるスポットです。

伝統芸能と光の祭典

毎年10月に行われる松尾山八幡宮例大祭に合わせ開催されます。

3000本を超える竹灯籠の幽玄な灯りに包まれ鑑賞する神楽はとても幻想的です。



桜

町内各所で桜を楽しむことができます。ふるさとおおち伝承館の縁側には美郷町の桜の象徴ともいえる樹齢約120年の前川桜があります。道に大きくしだれた枝は、桜のシャワーを降らせます。JR潮駅周辺の桜並木や島根県の指定天然記念物となった花の谷のエドヒガンザクラなど桜を楽しめるスポットがたくさんあります。



美郷町で楽しめる、
おもしろいところや行事をご紹介します。
ちょっといいところ自慢です。



ゴールデンユートピアおおち

健康・生きがい・交流がテーマの施設には、テニスコートやゲートボール場、温水プール、温泉などがあり、子どもから高齢者まで楽しめます。また宿泊施設も完備しており長期滞在も可能です。



遊・湯ランド潮村 「バカンスハウス」

江の川を一望する高台に建てられた北欧風のコテージが特徴の宿泊施設です。裏手には澄んだ水の流れる親水公園や水のすべり台があり、夏には子どもたちの遊び場になっています。潮温泉からも近く、家族連れの滞在に適しています。



日帰り温泉

美郷町は国立公園三瓶山の麓にあり、湯抱温泉、千原温泉、潮温泉など、泉質に恵まれた温泉は古くから湯治客に人気です。



14の大橋

宇津井大橋、都賀大橋、大浦橋、大和大橋、高梨大橋、都賀行大橋、信喜橋、浜原大橋、あけぼの大橋、吾郷大橋、栗原橋、港橋、それと鉄橋が2つ。美郷町内の江の川には14の橋が架かっています。それぞれの橋がデザインの異なる特徴的な形をしています。

鴨山駕籠かき大会

11月に開催する「みさとふるさとまつり」での名物イベント。4～5人一組で各チーム手作りの駕籠に40kg（女性は20kg）の肥料袋を積み、約2kmのコースを走る超過酷なレース。毎年町内外から20チームが熾烈な戦いを繰り広げます。



齋藤茂吉鴨山記念館

齋藤茂吉博士は、万葉集の柿本人麻呂辞世の句にある「鴨山」の地が湯抱であると推定されました。鴨山記念館には、博士の研究の功績に関する資料を展示しています。

伝えていきたい

伝統と文化

美郷町内には歴史の面影が数多く残っています。縄文時代、弥生時代の遺跡や遺物、銀を運んだ川や街道、根付いた文化。いくつもの時代を重ね、継承してきたもの。今もなお美郷町で生き続けています。



石見神楽

神楽はもともと収穫期に自然や神への感謝をあらわす神事として古くから受け継がれてきました。都神楽団、千原神楽団、地頭所神楽団、乙原舞子連中、都賀西神楽保存会、都賀西子ども神楽の6団体があり、祭りやイベントへの出演など町内外で広く活躍しています。美郷町では町の無形文化財の認定など、神楽の保存・伝承に力を注いでいます。



楽打ち・シャギリ

華やかな衣装をまとった打ち子が威勢のよい太鼓と笛で豊作を祝う神事です。伝統行事として古くから大切に守られてきました。地域によって「シャギリ」「楽打ち」などと呼ばれています。



石見銀山街道

かつて石見銀山の銀は大森から尾道まで陸路で運び、瀬戸内海を経て大阪まで運ばれていました。その際使っていたとされる「銀山街道尾道道」の一部、約28kmが美郷町を横断しています。この歴史街道には今でも当時の面影を残した古道や本陣跡地などがあり、歴史ロマンを感じることができます。



ふるさとおおち伝承館

先人たちが使用してきた農機具や家具などを展示しています。生活に密着した文化に触れることができます。建物は文政10年(1827)に建設された井戸谷村(現飯南町井戸谷)の前川家住宅が明治18年(1885)に移築されたものです。



キリ漁

川を切るようにビニールを設置し、アユを川下へ逃がさないようにして網に追い込む伝統的な漁法です。川とともに生きてきた美郷町ならではの文化。

町長あいさつ

美郷町長

景山 良材
かげやまよしき

昭和33年 3月 松江農林高等学校卒業
昭和37年 6月 沢谷郵便局就職
平成 6年 4月 粕洲郵便局退職
平成11年 2月 美郷町議会議員就任
平成21年 8月 美郷町議会議長就任
平成24年10月 美郷町町長就任



皆が笑顔で幸せを実感できる
町づくりを目指す

美郷町は、平成16年10月1日、邑智町と大和村が合併して誕生し、はや10周年を迎えようとしております。

美郷町は、島根県のほぼ中央に位置し、町の中央を中国太郎の異名をもつ江の川が貫流し、豊かな自然に囲まれた山間地です。

山の間を川霧が立ち込め、大河が縫って流れる様子は日本の原風景を醸し出し、まさに美しき郷と言えます。

美郷町は、「水と緑 いきいき輝く 夢あふれる協働のまち」を基本理念に、自ら考え行動すること、住民と行政が協働すること、地域の個性を生かし連携することの3つの基本方針を設定し、住民の皆様に信頼される町づくりを進めております。

今後とも厳しい財政運営が続くと予想されますが、住民の皆様と共に、安心して住み続けられるまちづくりを目指してまいります。

この町勢要覧は、美郷町の現在のまちづくりを紹介し、多くの皆様に魅力あふれる「美郷町」の姿を知っていただくために発行いたしました。

今後とも町民の皆様をはじめ、関係各位のより一層のご理解とご協力をお願いいたします。

議会・行政

町議会は、条例の制定や予算・決算の承認など、町の重要な案件を決定します。

年4回の定例会と必要に応じて臨時会が開かれます。

町の施策のチェックは議会の使命であり、議会改革をすすめ、常に町民の方々と対話を重ね、その結果に基づく政策の実現を目指しています。

行政は、最小の経費で最大の効果をあげるという地方自治の理念に基づき、複雑・多様化する住民ニーズや地域課題の解決に向け、住民の視点に立った行政と住民の協働によるまちづくりを積極的に進めています。

行政と議会は美郷町を担う車の両輪であります。常に一体となって様々な諸問題に取り組んでいます。

また、「議会だより みさと」や「広報 みさと」の発刊や町ホームページで、町民の皆様へ情報提供に努めています。



広報誌と議会だより



美郷町役場

美郷町の年間行事

継承してきたこと。新たに誕生したこと。美郷ならではの笑顔あふれる行事がたくさんあります。

1月

美郷町成人式
美郷町消防団出初式
とんど焼き
とらへい

1年間の無病息災、幸福を祈って、子供たちが各家々を回り、お菓子や果物などをもらう行事です。

鴨山カルタ大会



齋藤茂吉鴨山記念館で開催される新春の恒例行事。ふるさとカルタの部と百人一首の部があります。

2月

吾郷文化祭
比之宮ふれあい祭り



4月

夜桜神楽
花の谷しゃくなげ祭り



5月

美郷大学入学式
鴨山窯春の陶芸まつり

6月

美郷町民ふれあいソフトボール大会
美郷町民文化祭



7月

美郷夏祭り花火大会



毎年美郷町に現れる大輪の花とナイアガラ。ステージでは子どもたちの大声コンテストや神楽の上演があり、町内外のたくさんの人々ににぎわいます。

8月

江の川釣り大会
己斐子ども交流
グリーンロード納涼祭
うしお納涼祭
サマーフェスティバルin蟠龍峡



うなぎのつかみ取りやカエルのレースなど、田舎ならではのアットホームな夏祭り。そうめん流しが楽しめます。

9月

尺鮎釣り大会



10月

伝統芸能と光の祭典



この日の松尾山八幡宮は3000本以上の竹灯籠に囲まれます。幽玄の灯りの中、奉納される神楽はとても神聖な趣があります。

11月

美郷町駅伝競走大会
グルメフォンドin美郷
美郷町産業祭みさとふるさと祭り
鴨山駕籠かき大会



手作りの駕籠を担いで約2kmのコースを走ります。毎年工夫を凝らした駕籠と衣装でアイデアを競います。

12月

歳末たすけあい
チャリティーショー